

この通信は、昨年10月に策定した「常磐地区市街地再生整備基本計画」に基づく「いわき湯本」のまちづくりについて、地域の皆さんに広くお知らせするものです。まちづくりに関する活動などを中心に紹介していきます。

いわき湯本 まちづくり通信 第3号

皆さんで 回覧 して下さい

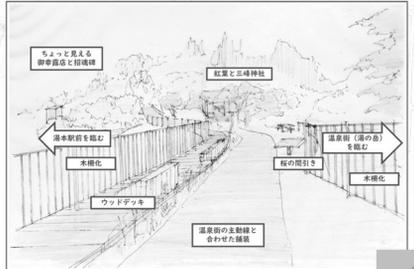
作戦会議を開催しました
ブランド化に向けた3回目の

「これからのまちづくりをどのようにしていくのか」を皆さんで共有できるように、いわき湯本温泉のブランド戦略づくりを進めています。先日3回目となる「いわき湯本温泉ブランド化作戦会議」を開催しました。会議では、渡部座長を中心に委員やアドバイザーの皆さんにより、「ビジョン」のあり方などについて、議論しました。ビジョンは、「これからのまちづくりを一言で表すメッセージ」になります。魅力ある温泉観光地づくりのスタートにあたり、地域内外に力強く素敵なメッセージを届けられるよう、引き続き議論を深めていきます。

12/21
Wed



会議前日の地域ワークショップでは、駅前や御幸山公園などでどう過ごしたいかなどを話し合いました。



整備アイデア（一例）

12/3 Sat ~ 1/9 Mon
湯本駅前にてライトアップが行われました

(公社)いわきJC主催「第2回イルミネーションいわき」が開催されました。市内5箇所で開催され、湯本駅前でも素敵なイルミネーションが施されました。



駅前の整備に向け権利者の方々との対話を進めています

今後、駅前の整備に向けては、土地区画整理事業を進める予定としています。10月下旬に権利者の方々への説明会を開催し、12月からは順次個別のお話し合いも進めています。今後も権利者の方々のお考えや不安な点などを丁寧に伺いながら、魅力ある駅前空間の実現に向け、事業を進めていきます。



いわき湯本温泉一言×七
地区には、いわき湯本温泉に関する「鶴の伝説」が伝えられています。ある日、二人の旅人が佐波古の里を訪れると、傷ついた丹頂鶴が湯気が立ち上る泉に浸かっていたので、その傷口を洗ってあげると、鶴は元気に飛び立っていきまし。その数日後、巻き物を持った高貴な女性が訪れ、その巻き物には、佐波古の開湯に関する内容が記されていました。それが、いわき湯本温泉のはじまりになったと言われています。

「あとち」の利用方法について

あとち=市営住宅天王崎団地跡地
「あとち」の集会所や広場は、誰でも自由に過ごすことができる場所です。また、イベント開催の際には、集会所・広場・スペースを占有して使うことができます。（申込制・有料）
申込方法や利用料金は、じょうばん街工房21までお問合せ下さい。（☎：0246-43-2757）
なお、占有の無い場合、集会所は平日16～19時、土日祝日は10～17時まで開放していますので、気軽にお立ち寄り下さい。



「あとち」利用の手引き QRコード

